検査書類限定型モデル工事 試行要領

1 目的

「検査書類限定型モデル工事」は完工検査時を対象に必要な書類を限定することにより、監督職員と検査員の書類の重複確認を原則行わないこととし、検査業務の効率化を図るとともに、発注者として責務の適切な遂行を目的とする。

2 対象工事

以下の工事について検査書類を限定化するものとする（営繕・農林工事を除く）。

・当初設計金額が 300 万円未満の工事

※5号随意契約案件は対象外

※低入札案件は対象外

3 試行内容

（1）書類検査

検査員は、完工検査時に下記の7書類に限定して書類検査を行う。

①施工計画書	⑤品質管理図表
②施工体制台帳（下請引取検査書類を含む）	⑥品質証明書等
③工事打合せ簿	⑦出来形管理図表
④工事写真	

※工事期間中に提出した資料については新たに作成する必要はない。（段階確認時に作成した出来形管理図等）

（2）調査協力

アンケート調査があった場合には、受発注者ともに協力するものとする。

4 実施方法

①特記仕様書に検査書類限定型モデル工事である旨記載する。

【特記仕様書 記載例】

(検査書類限定型モデル工事)

第〇条

- 1 本工事は「検査書類限定型モデル工事 試行要領」に基づく「検査書類限定型モデル工事」である。
- 2 検査書類限定型モデル工事は、完工検査時に下記の7書類に限定して書類検査を行うものである。

①施工計画書	⑤品質管理図表
②施工体制台帳（下請引取検査書類を含む）	⑥品質証明書等
③工事打合せ簿	⑦出来形管理図表
④工事写真	

- 3 上記のほか、特別な事由がある場合は、上記7書類以外に追加書類を併せて通知する。
- 4 実施状況や改善点等を把握するためのアンケートに協力する。

5 留意事項

この措置はあくまで検査の際に担当検査員が確認する書類の限定化であるため、対象以外の書類については従来どおり作成する必要がある。

附 則

この要領は、令和6年4月1日以降に作成する設計書から適用する。